

授 業 科 目	装具学実習Ⅱ（下肢装具）		
教 育 内 容	専門分野	装具学	
担 当 教 員	中村喜彦、大谷巧		
学 年	1	単 位 数	2
開 講 時 期	後期	時 間 数	実習 90 時間

■ 授業概要

実習では、シューホーン型と両側支柱付短下肢装具を製作する。短下肢装具の使用目的、製作方法、適合に対する知識と必要な基本的技術を習得する。立位・歩行時の短下肢装具装着による力学的側面およびアライメントについて教授する。

■ 到達目標

- 1) シューホーン型短下肢装具の採型、製作方法、適合について理解し、実践できる。不適合の原因を理解し、対処できる。
- 2) 両側支柱付短下肢装具の採型、製作方法、適合について理解し、実践できる。不適合の原因を理解し、対処できる。

■ 授業内容

第 1-4 回	【実習】 シューホーン型採型・陽性モデル製作
第 5-8 回	【実習】 陽性モデル修正
第 9-12 回	【実習】 プラスチック成型、トリミング、仮合せ
第 13-16 回	【実習】 仮合せ後の修正・調整・仕上げ
第 17-20 回	【実習】 仕上げ・評価
第 21-24 回	【実習】 両側支柱付短下肢装具 採寸・トレース、装具設計、材料準備
第 25-28 回	【実習】 あぶみ曲げ加工、芯だし、支柱曲げ加工
第 29-32 回	【実習】 半月曲げ加工、仮合せ準備、仮合せ
第 33-36 回	【実習】 仮合せ後の修正・調整
第 37-40 回	【実習】 仮合せ後の修正・調整
第 41-45 回	【実習】 仕上げ・評価

■ 評価方法

本科目は、「製作実習」における製作品、小テスト、期末試験での評価を総合して行う。

※提出物において期限を守れなかった場合は、基本的に評価を0点とする。

【評価配分】 製作（シューホーン型） 35%、製作（両側支柱付） 35%、小テスト 10%、
期末テスト 20%

■ 教科書

装具学第4版

■ 留意事項

小テストを随時行う。

本科目は各論であるため、基本工作論の単位を取得していることを前提とする。基本工作論の単位を取得していない場合は、本科目の単位を認定しない。

<講師の実務経験>

中村喜彦：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に5年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として17年間勤務。

大谷巧：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に15年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として1年間勤務。